

平成23年12月22日

## 電通ダイバーシティ・ラボが「読みやすさプロジェクト」を開始 ～全社員のPC約10,000台に可読性の高いUCDAフォントを導入～

株式会社電通(本社:東京都港区、社長:石井 直)の社内横断チーム「電通ダイバーシティ・ラボ」は、一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会(UCDA/理事長:福田 泰弘)の協力を得て、文字やデザインなどの読みやすさの観点から、コミュニケーション領域全般の研究・知見集積・提案などを行っていく「読みやすさプロジェクト」を開始します。

本プロジェクトは、年齢、性別、障害の有無、言語の違いなど生活者の多様性(ダイバーシティ)を配慮したクライアントのコミュニケーション活動をサポートするために、UCDAなどと共同で行う取り組みです。具体的には、老眼、白内障、高齢の方をはじめ多様な人々の可読性向上の視点から、企業のコミュニケーションツールや商品・サービス開発におけるコンサルテーションなどを行います。まずは、プロジェクトの立ち上げに際し、当社内のPC約10,000台にUCDAフォント(※)を来年1月中旬に導入し、全社員が読みやすいフォントを使用できる環境を整備します。

また電通はUCDAと共同で科学的検証に基づくより高質なオリジナルフォントの開発にも着手し、クライアント企業のコミュニケーションツールに活用可能なソリューションを順次提供していく予定です。

※ 老眼、白内障、高齢の方々にも読みやすいことが科学的に実証され、UCDAが認証した書体

### 【一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®について】

2007年に任意団体として設立、2009年に一般社団法人化される。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動で情報効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することを目指している。

### 〈本件に関する問合せ先〉

—リリースに関するお問い合わせ先—

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局広報部 市川・山田 Tel:03-6216-8041

—内容に関するお問い合わせ先—

株式会社電通 ソーシャルソリューション局ソーシャルビジネス開発部

梅野 Tel:03-6216-8823